

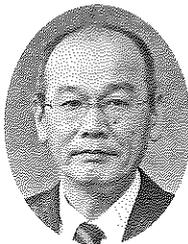
# 新退教通信

No.198

2026.3.1

新潟県退職  
教職員連絡協議会  
Fax 025-281-8146

## 平和の灯が広がることを願って



新退教副会長

堀江 康之

巻頭言を書いている明後日は、第51回衆議院総選挙投票日であります。厚生労働省の発表では、2026年度の国民基金（基礎年金）は、少子高齢化の中、支給額を抑制する仕組みが適用され、賃金上昇率2・1%から実質的には0・2%分目減りします。物価上昇が3・2%と賃金の伸びを上回ったためのルールに基づき、賃金上昇率を連続四年目減りする結果となりました。また、「子ども子育て支援制度」が本年四月から始まり、全世代が医療保険料とあわせて支援金を拠出する方式で、2028年度で月額450円と試算されていると言われています。

少しぐらいいは贅沢を止めたり、我慢したりすることはできません。支援金も子どもたちのために拠出します。しかし、次世代の子どもを応援するのは、金銭なことだけでは無いと思います。

どんな選挙結果になり、どんな政府であろうとも、平和な国づくりを第一に考えて欲しいと思います。恒久平和を願い、どんなことであろうとも、武力で解決するような戦争に向かう日本にならないで欲しいと願っています。

我が古里長岡には、平和の森公園があります。「記憶の森」をテーマに、忘れてはならない記憶を結晶させ、平和への祈りを長岡から世界へ発信する場として、1996年に開園されました。この公園のシンボルは平和像です。昭和二十年八月一日の長岡空襲は、一夜にして市街地の八割を焦土と化し、尊い命を奪いました。その中には、児童生徒などいたいけな命も多く含まれていました。こうした人々の慰霊と平和を願い平和像が建立されました。縁をいただきこの公園の構想から開園まで携わらせていただいた一人として、毎年八月一日には「平和祈願祭」に参加しています。

孫が小学生になるぐらい大きくなったら、ともに参加したいと思っています。平和を願うたとえ小さな行動でも、心から心へ、平和の灯が広がることを願っています。

### 目次

8p	7p	6p	5p	4p	3p	2p	1p
日退教通信 新年号 巻頭言	みんなの広場 教職員共済「広告」	1954年戦争末期の佐渡での出来事	北陸地区退教との連携 西浦燕支部 三南支部 若林 久	支部からのたより 森山 宣子	新潟五泉支部 柏刈支部 小林 公一	糸魚川支部 山本 清一	巻頭言 副会長 堀江 康之 支部代表者会 現退役員交流会 署名 新教組旗開き 再稼働反対の取組 支部からのたより



写真タイトル『波濤に舞う』  
中山 博迪さん（柏刈支部）

支部代表者会議

12月15日第一部の会議は「支部代表者会議」があった。

昨年度役員交代があったため、今年度は役員選考委員会がなかった。大坂会長からは、今年度会員が1600人を割ったことに対して、加入促進をしっかりとやらないと、新退教の存続が危ないと話があった。

今井淳委員長からは、2025年の賃上げの流れ、教職調整額・担任手当の問題点、そして未だに新潟県内で担任未配置が100校以上ある現状が報告された。

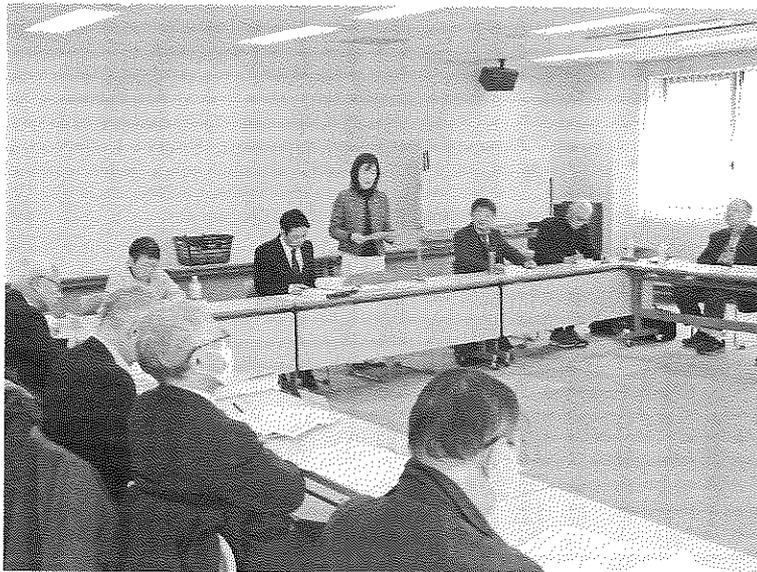
事務局から、6月18日に開催した「緊急支部代表者会議」の協議内容の説明があり、新退教が抱えている最大の課題である「加入促進」「定年延長」の問題点を協議した。会員の高齢化、役員の成り手不足など課題は山積している実態が明らかになった。

現退役員交流会

12月15日第二部の会議は「現退役員交流会」があった。メイン議題は、「7月の参議院選挙総括」である。西脇直美副執行委員長から、新潟県小選挙区での「打越さく良」さ



んと比例選挙区での「みずおか俊一」さんの当選の報告と、新潟県内での水岡さんの得票が伸び悩んでいる現状が報告された。  
新退教では、政治については、会員の自主性に任せているものの、選挙に対して、教職員及び教職員経験者の政治離れが話題になった。新教組は、水岡さんの県内得票が新教組の組合員数より少ない現状をどう打破していくかが話題となっている。まずは、教職員が選挙に行くことが第一歩であると提案があった。



子どもたちの学ぶ環境を改善するため、教育予算増・教職員定数増をもとめる署名

新退教は、新教組とともに、「子どもたちの学ぶ環境を改善するため、教育予算増・教職員定数増をもとめる署名」を8月初旬から取り組んだ。11月中旬に、新教組本部に手渡した。昨年度より、59筆多かった。ご協力に感謝します。

支 部	筆 数	会 員	署名率
新 潟 市	95	105	90.5
長 岡	84	274	30.7
三 南	58	178	32.6
柏 刈	79	158	50.0
北 新	89	110	80.9
新潟五泉	73	27	270.4
西 蒲 燕	109	120	90.8
北 魚	138	82	168.3
南 魚	48	102	47.1

中 魚	45	70	64.3
上 越	442	215	205.6
糸 魚 川	172	121	142.1
村 上	130	66	197.0
佐 渡	87	60	145.0
計	1649	60	2748.3



新教組旗開き

一月十日 新教組旗開きが東映ホールで行われた。佐藤俊介書記長の進行で、今井淳本部長執行委員長の挨拶、来賓・国会議員の挨拶があった。乾杯は、渡辺耕太書記長会長の元気な声で、懇親会がスタートした。その後、新春抽選会と続き、西脇直美副執行委員長の閉会の挨拶、そして最後に、今井委員長からの団結ガンバロウで締めくくった。

〈来賓〉敬称略

- 連合新潟会長 小林 俊夫
- 新高教執行委員長 遠藤 丞
- 県平和センター議長 登坂 崇規
- 県職労執行委員長 山田 有希
- 日教組中央執行委員 小野 澄江
- 衆議院議員 西村智奈美
- 衆議院議員 菊田真紀子
- 衆議院議員 黒岩 宇洋
- 衆議院議員 米山 隆一
- 参議院議員(代理) 打越さく良
- 日政連新発田市議会議員 三母 高志
- 日政連佐渡市議会議員 荒井 眞理
- 日政連小千谷市議会議員 長谷川有里

〈旗開きの動きから選挙結果〉

今年の旗開きでは、衆議院議員の方々から「衆議院の冒頭解散」が話題となった。その後、1月19日に衆議院解散、2月8日投票日となった。

投票結果は、高市首相の高い支持率が影響し、自民党が国会で単独「3分の2」を占める結果となり、新潟県内では全ての選挙区で自民党が1人区を独占する結果となった。今後の日本の未来が心配である。

柏崎刈羽原発の再稼働を許さない

12月県議会最終日、新教組35名を含む1200人を超える市民が県庁前で抗議行動を実施。花角知事に対し「再稼働の是非は県民が決めたい」など抗議の声を上げた。(新退教は2名参加)



人間の鎖で新潟県庁を包囲することに成功

時期	知事と県議会vsの取組
2018年選挙	花角知事「再稼働の是非は県民に信を問う」
10/21	自民党会派が県議会採決
11/22	花角知事「再稼働を容認する」と表明
11/25	新潟県庁を囲む「人間の鎖」活動の実施
12/22	県議会で、花角知事を信任する
1/20	6号機の原子炉を起動
2026/1/21~	制御棒トラブル等で運転停止
3/18	営業運転を開始予定



# 支部からのたより



## いといがわ再発見



糸魚川支部 支部長  
山本 修

二〇二五年糸魚川支部では、十月に研修会を実施しました。昨年の「いといがわ再発見」の第二弾として、翡翠園（ヒスイ美術館）・五百羅漢像・七社大社・谷村美術館を見学しました。それぞれ、詳しい方々から説明をしていただき、参加者一同「ハー！」「ハー！」「ホー！」

の連続でした。参加された皆さんは、糸魚川に永年住んでいるはずなのに、初めて知ることの何と多いことでしょう。好天にも恵まれ、谷村美術館で茶菓をいただきながら、隣接する玉翠園の景色を楽しみという至福の時も体験できました。糸魚川の魅力を再発見するという当初の目的が十分に達成された研修会でした。「糸魚川には、まだまだ知らない魅力がいっぱい」「糸魚川って良いところ」と、ふるさと糸魚川を大いに自慢したくなりました。

## 胡蝶蘭の生命力

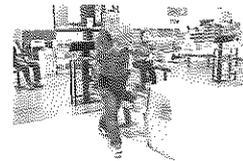


新潟五泉支部 事務局長  
高津 清 一

六十歳で定年退職を迎えた時に、ある方から胡蝶蘭の花を一鉢いただいた。夏まで花を楽しみ、その後は日当たりの少ない庭の一角に置いて、時々水やりをしながら様子を見ていた。二株は真夏の猛暑に負けて枯れた。生き残った一株に「よくがんばった」と声をかけ、屋内に

運びこみ世話を続けた。冬を越して葉の色変わらず、春を迎えた頃に、葉が二枚増えて成長した。その後、二度目の夏と冬を越えて迎えた退職後三年目の春に、花芽がついてグングン伸びてきた。そして初体験、胡蝶蘭の花を咲かせたのだった。あの生命力には大変驚かされた。初めての環境の中で、猛暑に耐え、極寒に耐え、命をつないだあのたくましさ、粘り強さには学ぶものがあつた。今後の私の人生に、何か好影響を与えるであろう、大きな出来事だった。

## ボウリングを楽しもう会



柏刈支部 事務局長  
小林 公 一

柏刈支部は、賛助会員を含め総勢200名弱の組織となります。当支部は、楽しく有意義な活動を目指しています。

昨年度から新たに「ボウリングを楽しもう会」立ち上げました。「体を動かしていつまでも若く元気であるために」をテーマに健康維持を兼ねて楽しく身体を動かしています。

休憩時には楽しい会話を交えながら会員の情報交換の場にもなっています。これからも会員が気軽に参加できるように広報等でお知らせしていきたいと思えます。

その他の活動として、年2回7月と11月に「支部だより」の発行しています。会員の「近況報告」を主に掲載しています。会員の声として、皆さんの様子が見えるので、毎回楽しみにしているとの声をいただいています。

### 戦後八十年を想う



三南支部 幹事  
森 山 宣 子

昨年九月、昭和百年（戦後八十年）を記念し、父の戦跡を訪ねることにした。ある海戦に出征した父は、戦後京都の舞鶴港に復員し、東京での公務員生活を経て故郷に帰り、市役所や民間に努め、五年前鬼籍に入るまで家族と故郷のために働き、貢献し続けた。

### 楽しい入会案内書づくりで



西蒲・燕支部 支部長  
若 林 久

ご他聞にもれず、当支部においても新入会員数の減少問題は深刻です。この背景には、社会全体を深く覆う「人間関係の希薄化」の深刻な社会現象があります。そこで「確かな絆づくり」の再構築・拡充を推進しなければなりません。退職された方々が新退教活動に改めて目を向けて参加しても

北陸新幹線のせいですっかり乗り継ぎが不便になった日本海側JR路線で舞鶴に到着し、シベリア抑留記念館と復員船が上陸した湾を巡った。戦後の引き揚げの頃は、賑わっていたであろう街はすっかり寂れていたが、父が船上から見たであろう山の緑や海の色は、残暑の光を浴びて美しく輝き、

得体のしれない喜びがこみ上げてきた。幸運にも生還した父のおかげで今の私が在る。残りの人生を少しでも有意義に、人の役に立つように暮らしたい。そんなふうには思わせてくれた旅であった。

らえるよう、地道で継続的な働きかけしかないことを役員会で確認しました。とても難儀な問題です。

当支部では年1回実施の研修旅行と4クラブ制の趣味の会活動を根幹としています。シルバークライフにおける生き甲斐と喜びを感じて参加している会員の充実した様子を大々的に伝えて勧誘を強化することが役員会で確認されました。大津幹事長を中心にカラー写真をふんだんに掲載した楽しい入会案内を作成して配布する予定で、現在準備しています。

### 会員の活動紹介を募集

会員の活動紹介を新退教通信で掲載します。会員の中で、音楽や芸術などを発表する機会がありましたら、新退教通信事務局にお知らせください。活動日の半年前にお知らせください。掲載は、7月号、12月号、3月号に掲載します。

報告内容	事務局への報告
活動内容	音楽、絵画、芸術関係等
活動日時	○月○日 □時
発表会場	○○市「 <input type="text"/> 」(会場名)
入場料	入場料を取る場合は金額
問合せ先	連絡がつく連絡先

新退教：025-281-8146  
shitaikyo@gmail.com

高橋 宣明 テノールリサイタル 2026

第一部 日本のうた  
第二部 ドイツ歌曲  
テノール 高橋 宣明  
ピアノ 若林 久

第三部 オペラ名曲集  
『鐘楼』(トットリ)  
テノール 高橋 宣明  
ピアノ 若林 久  
ソプラノ 桑野 彩  
バリトン 高橋 翔

入場料2000円  
前売り1500円(4月8日~20日)  
当日2000円

2026年8月30日 午後2時開演

会場 新潟市秋葉区文化会館ホール

新潟五泉支部会員の高橋宣明さんが「テノールリサイタル2026」を新潟市秋葉区文化会館で開催します。  
日時 8月30日 午後2時開演  
会場 新潟市秋葉区文化会館  
入場料 2000円(前売り券はプレイガイドで) 問合せ 高橋携帯 (0901770615727)

### 会員からのお知らせ

北陸地域退教  
とのかわり

# 「能登の七尾で起こった機雷事件」と佐渡との関わり

新潟県には、戦争の悲惨さを伝える事件がいくつかある。その中に、戦争が終わってからも機雷の爆発によって、小中学生を含む63人が死亡した事件が、1949年3月30日、新潟県西頸城郡名立町で起こった。新教組でもこの「名立機雷爆発事件」は戦争の悲惨さを伝える事件として、平和学習で取り扱ってきた。昨年度、北陸地区退職教職員連絡協議会の代表者会議後、石川県退教の角三外弘会長から、「終戦間際の機雷事件を知っていますか」と聞かれた。「6月13日の新潟日報の記事に載ったので知っていると思いました」と言われた。改めて、いただいた文書と新潟日報の記事を読んだ。

新潟日報 2025年(令和7年)6月13日(金曜日) 10版 社 会 28

新潟県 佐渡 小川 能登

## 「佐渡の温情 生涯忘れず」

### 「戦後80年」

### 長男「戦争の悲痛さ実感」

「1面から続く」

「佐渡山丸」沈没 船員漂着

1945年6月17日の明け方、佐渡市北西部の小川集落の小さな入り江に1隻の伝馬船が漂着した。その船に乗っていたのは4日前の6月13日未明、能登半島沖で魚雷攻撃を受け、沈没した陸軍輸送船「佐渡山丸」(6892)の乗組員13人だった。

生存者の証言などによると、佐渡山丸は12日午前、兵士や船員ら173人と軍事物資を積み新潟港を出港。現在の北朝鮮の清津港を目指して航行中、米海軍潜水艦による3発の魚雷で撃沈した。佐渡山丸の破片などにつかり漂流している兵士の救助を求める

ため、1隻だけ残った伝馬船に船長と屈強な船員が乗り込み、約150メートル離れた佐渡を目指した。海流の関係や目印となる金北山があることから、佐渡を目的地にしたとみられる。

伝馬船に乗った13人うちの1人は北海道小樽市出身の甲板員、村岡豊平さん(当時22)。最年少だった村岡さんは「生きて小樽に帰りたい」との一心で3昼夜、もう1人と交代で1丁しかなかった櫓をこぎ続けた。

たどり着いた小川集落では約1週間、住民から手厚い看護を受けた。旅館に収容され、回復後は豪華な海鮮料理が振る舞われたという。村岡さんの長男は(以下)静岡県在住。2010年から、生前の父と、村岡さんは1996年から聞いた話を基に、「激」に73歳で亡くなったが、晩年の10数年たった今も佐渡で受けた温情ははつきりと思い出せる。忘れることではない」と感謝していた。

村岡さんの知らせを受け、佐渡山丸の救助活動が行われたが、民間人を含む計51人が死亡。行方不明となる惨事となった。しかし、国家機密として隠され、50年後の1995年まで佐渡では知られていなかった。この海が戦場になっていた。佐渡山丸沈没では兵隊だけでなく、民間人も死んでいる。戦争で死ぬのは兵隊だけではない」と強調した。

村岡豊平さん(左)と列白(佐渡山丸船員)や小川集落住民らの集合写真(1945年6月)

(佐渡総局・山崎洋吉)

佐渡と言えば、戦争が終わった1946年1月14日、英軍輸送機「タゴタ」が佐渡郡高千村に不時着した。村民たちは「困った人を助けるのが、「佐渡人人間」の精神だ」として、村総出で救出に協力した地域である。その半年前の6月13日に、陸軍輸送船「佐渡山丸」が、能登輪島沖でアメリカ潜水艦からの3発の魚雷攻撃を受け沈没、数名の乗組員が小型艇に乗り、約150メートル離れた小川集落にたどり着いた。村民から手厚い看護と接待を受けた。助かった人からは、「佐渡の温情を忘れることはない」と感謝の言葉がかけられた。戦後80年、佐渡のすばらしさを新退教会員全員で確認したいものだ。ただ、この事実は軍事機密として扱われ、公になることはなかった。佐渡でこの事件が知らされたのは50年後であった。

# みんなの広場

我が人生はバイクとともに ⑧

今井 真吾

人生最後の悪あがきとして、公認改造車を作ること挑戦した。750ccのフレームに900ccのエンジン積んで車検を取ることを目指したのだ。

手続きは複雑だったが、何

も陸運支局に足を運び、パーツリストを比較しながら、制動系と駆動系の強度に問題が無いことを確認して書類を整えた。ほとんど手持ちのパーツで組上げた一台だ。これが私のバイクづくりの集大成となった。



公認改造車登録した愛車

## 「花」から「苔」そして「苔玉」 ③

ペンネーム 「新潟市背比べ」

苔の魅力と苔玉づくりの面白さに、妻はだんだんはまっていった。まずは、「大宮盆栽美術館」に行った。とても素晴らしい盆栽が並んでいた。樹齢400年の盆栽もあり、度肝を抜かれた。

余韻に浸りながら、道路向かいの喫茶店に入った。入ると、「苔玉づくりできます」の

掲示があった。創作意欲をぐつと我慢して、ランチを注文しました。食べ終わりと、セットのホットコーヒードを飲んでみると、「どうぞお持ち帰りください」と可愛い苔玉をもらった。本日に和んだ秋の日だった。



大宮盆栽美術館の中庭

## 事務局からのお願い

新退教通信は、親しまれる通信にするため、会員の皆様の作品を募集しています。載せたい方は、本部事務局にFAXまたはmailで申し込んでください。なお、1面の写真は風景等を、最終面は「みんなの広場」に投稿文及び写真をお送りください。

- ① 写真 (風景、人物、書、縫物など)
- ② エピソード (自由文10字×10行程度、旅行記、人とのかわり)
- ③ 文芸 ((俳句、和歌、川柳など。←各支部単位でもOK)

住所：新潟市中央区新光町7-4  
☎/FAX：025-2818146  
mail：shintaikyo@gmail.com



〈広告〉

教職員共済組合員のための

# マイページができました!

教職員共済 マイページ

検索

<https://www.kyousyokuin.or.jp/kumiai.html>



## LINE公式アカウントもできました!



お友だち登録はこちらから



イメージキャラクター「あむりん」

厚生労働省認可

### 教職員共済生活協同組合

〒162-8624 東京都新宿区山吹町10-1 ラポール日教済

# 2026年 年頭にあたって

日本退職教職員協議会 会長 平岡良久

## 日退教通

No. 422

2026.1

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋二一六一二 日本教育会館6F  
 発行責任者 平岡良久  
 TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081  
 E-mail nitaikyoo@gmail.com 〒447-URL http://www.nitaikyoo.com



平岡良久

昨年10月21日、高市政権が発足しました。日本で初めての女性首相の誕生で喜ばしいことですが、最も望まない首相の出現でした。案に相違なく、所信表明で防衛費の対GDP比2%の前倒し、安保関連3文書の改定などに言及しています。

2025年の参議院選挙では、全国の仲間の奮闘があり、水岡俊一さんが見事当選を果たしました。同選挙では自民党への裏金・脱税批判により、2024年の衆議院選挙に続き自公政権は少数になりました。

高市首相は、裏金問題を克服できず、公明党に離反され、日本維新の会を政権に加えました。新たな政権は、「政治とカネ」改革課題、企業・団

体献金の扱いを先送りし、衆議院議員定数削減を政権合意文書に示すことで一致しました。

物価の上昇率は、2020年を100とするとは今は110を大幅にこえる物価高に見舞われています。1ドルが155円を超える円安のためもあり、年金生活者の生活はますます苦しくなっています。

また、軍事費予算の倍増、「年収の壁」を103万円から178万円に引き上げるための「財源確保」に社会保障制度の見直し、とりわけ高齢者の「医療費」負担の見直し（基本3割負担）が検討されようとしています。高市首相は、「台湾有事」に触れて、「存立危機事態」になり得るケースを述べていて、極めて不穏当な発言をしています。安倍政権以降の「軍事偏重」「対米追従」路線の延長を許さず、平和で暮らしやすい国づくりをめざし、がんばりましょう。

## コロナを越えて、50周年記念企画中国研修旅行開催される

—無謀な日中戦争・重慶空襲85年へ—  
 (10月20日～24日)

ハイライトは

四川外国語大学での交流

参加者・望月信光

中国の人々の活気と街の賑わいに圧倒されつつ放しの4泊5日でしたが、とても楽しく、また刺激がいっぱいの記憶に残る旅となりました。これも添乗の沈雪軍さん、現地ガイド・成都の張小素さん、重慶の漆曉笛さん、そして、企画・コーディネートにご尽力いただいた尾崎明子さんのおかげと感謝。平岡会長もお疲れ様でしたが、持ち帰った感想や印象深い出来事は山ほどですが、いくつかピックアップ。まず三国志の英雄を祀った武侯祠での張さんの解説が、熱量と知識量でハンパじゃなかった。蜀の都だった成都に暮らす人たちが、どれほど三国志を愛し、誇りに思っているか、びびりと伝わる語り口と内容でした。武侯祠は再訪ですが、さらりと回っただけの前回の薄めの印象は一変、ガイドの力はさすがだと思いました。

(以下略)



四川外国語大学絵の交流